

TKC北海道会 第46回秋季大学

令和6年10月3日(木)

《メイン会場》

ホテルベルクラシック北見

〒090-0046 北海道北見市北6条西1丁目8-1
TEL: 0157-31-1200 FAX: 0157-31-8181

《サブ会場》ホテル黒部

〒090-0047 北海道北見市北7条西1丁目
TEL: 0157-23-2251 FAX: 0157-23-5492



ホテル ベルクラシック北見

13:30 開講式
13:55~15:25 基調講演
15:25~15:45 休憩・会場移動
15:45~17:15 特別講演
17:15~17:45 休憩・会場移動
18:00~20:00 懇親会

スケジュール

申込要領

申込期限 令和6年8月31日(土)

申込方法

会員事務所:

「TKC研修カレンダー」よりお申込み下さい。
※他イベントの関係でホテル手配が難しくなることが予想されます。TKC会員で宿泊ホテルの手配ができない場合は、**7月31日までに専用フォームにて事務局にご相談ください。**

会員事務所以外:

専用申込書(専用フォーム)よりお申込み下さい。
※他イベントの関係でホテル手配が難しくなることが予想されます。

参加費

会員……15,000円 (講演会・懇親会費を含む)
職員……10,000円 (講演会・懇親会費を含む)
…… 3,000円 (講演会のみ参加)

提携・協定企業の皆様

……15,000円 (講演会・懇親会費を含む)

定員 講演会/300名 懇親会/250名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

会費の払い戻し

9月1日以降のキャンセルにつきましては、返金いたしかねますので、ご了承ください。



爽やかな季節の中で

親睦ゴルフ大会

令和6年 10月4日(金)

北見ハーブヒルゴルフクラブ

〒090-0807 北海道北見市川東724番地 1
TEL: 0157-31-0109

集合時間 7:15 開始 8:03~
10組40名
競技方式 ダブルペリア方式
参加費 5,000円
プレー代 12,000円程度

TKC北海道

かいほう 2024.8.20
第256号

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622
https://www.tkc.jp/hokkaido



Chance, Change and Challenge
TKC HOKKAIDO

発行責任者/本間 貴久 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



全国役員大会で表彰を受けた空知・北見・函館支部

CONTENTS

●巻頭言 1年を終えて、再度挑戦をする……………	02	●旭川信用金庫_TKC旭川支部 交流会……………	19
●第51回TKC全国役員大会開催される ～灼熱の福岡に熱き会計人集う～……………	04	●行職員向け研修会開催報告……………	20
●就任のあいさつ 巡回監査・事務所経営委員会委員長 蝦名和広…	09	●道内金融機関MIS対応状況一覧表……………	21
●会計事務所の高付加価値経営実践講座2024 第1部 継続MAS研修(所長編)……………	10	●モニタリング情報サービスNEWS……………	22
第2部 MIS活用情報交換会……………	11	●早期経営改善計画策定支援NEWS……………	24
●会計事務所の高付加価値経営実践講座2024 (所長編)に参加して……………	12	●支部例会・研修会だより……………	25
●SPECIAL Seminar 2024……………	14	●はじめての書面添付研修【書き方講座】開催報告…	29
●研究会のご紹介 TKC北海道医業会計システム研究会について…	16	●令和6年書面添付実践件数……………	30
「資産対策研究会」活動のご紹介……………	17	●あの方は今……………	32
原点の会の活動報告……………	18	●北海道会 会務動向……………	33
		●シローちゃん所属の支部の例会に行ってみた…	34
		●活動予定カレンダー……………	36
		●編集後記……………	37
		●秋季大学プレ案内……………	38

TKC北海道会 会長 本間 貴久



TKC北海道会会長を拝命いたしまして、約1年がたちました。多くの方々に助けられ、何とか円滑に会務を行うことができるようになってきたのではないかと感じております。この1年間、何をすべきかを考える前に、われわれには何ができるのかを考え、一歩ずつ進んでまいりました。会員の皆さまには混乱を与える場面もあったかもしれませんが、この場を借りてお詫び申し上げます。

前期は、会の方針として3つの柱を掲げました。会員一人ひとりにある程度伝わったのでしょうか。まだまだ道半ばではないでしょうか。今期も引き続き3つの柱を活動の中心にしてまいります。会員そして職員の皆さまにご理解いただけるよう、再度3つの柱について述べさせていただきます。

【守り抜くこと】

…共通の理念を持っている組織であること、理念に基づいて活動している組織であることを守らなければならない

TKCに入会する動機は会員によりさまざまであると推測されますが、ただ単にTKCシステムだけであつた税理士の集まりではありません。共通の理念を持ち、活動・経営するのがこの組織であるということを、依然として会員そして職員に伝えられていないのではないかと感じております。

今期は、飯塚毅名誉会長がどのような思いでこの組織を創設したのか、どのような未来を抱いて組織を作ったのかを再確認する必要があると考えております。

【伝え続けること】

…翌月巡回監査・書面添付制度・研修の受講はTKC会員にとって最も中心的な行いであることを伝え続けなければならない

TKC会計人は、すべての会員が社会的信用と尊敬を集めることを求められています。社会からの信用を得るためにはどのような行いが必要であり、どのような事務所経営が必要であるのかを考えなければなりません。伝え続けるべき3つの行いは以下の通りです。

- ①TKCシステムによる翌月巡回監査が基本業務であることを伝え続ける活動が必要です。数件のみTKCシステムを使い、監査をしても社会からの絶対的信頼は得られません。
- ②TKC会計人は事務所の業務品質の向上を目指す集団です。書面添付制度により事務所全体が品質の高い業務を行っていることを

社会に示す必要があります。数件の書面添付だけでは事務所全体の業務品質の向上には至らないため、書面添付制度が基本業務となるような活動が必要です。

- ③会員や職員の研修がわれわれの業務には不可欠であることを伝え続けることが必要です。なぜ研修が不可欠なのかを会員・職員が考えなければなりません。研修は職員の資質を向上させ、事務所の業務品質の維持へとつながります。その結果、TKC会計事務所の職域を守ることになります。研修の時間を確保することは大変なことですが、TKC会計事務所は他の会計事務所より上をいく会計事務所であると考えています。私たちの業務には常に研修が不可欠であると伝え続け、研修を継続的に提供する必要があります。

【新たに挑戦すること】

…社会から信頼を得られ、期待されるための活動を行わなければならない

TKC会員が社会から信頼を得られるためには、信用される決算書・申告書の提供が必要です。これらの信頼性を担保するためには、第三者によって証明される「記帳適時性証明書」の添付活動が欠かせません。また、金融機関等にTKCへの理解を深めてもらうため、新たに交流会や研修会を継続的に開催していく必要があります。

TKC会員が期待される役割を担うためには、組織全体ではなく会員一人ひとりがそのことを認識し、実践していくことが必要です。一部の会員だけではなく職員も含めて実践することで、TKC会計事務所が期待される組織になっていくことが求められます。また、月次巡回監査より得られる情報や信頼される会計データを利用し、経営者へ経営助言や経営指導を積極的に行っていくことは、私たちにこれからさらに求められる業務となっていくことになります。

前期には、TKC北海道会の組織を考え直し、ニューメンバーズ会員を組織の一員として積極的

に登用していくつもりでした。数名のニューメンバーズ会員には活躍をしていただけましたが、今後まだまだ力のある会員に参加していただきたいと願っております。

【再度挑戦する】

…課題解決策は、すべての活動をすべての会員と職員が理解すること

TKC北海道会の最大の課題は、すべての会員や職員にまで活動内容が伝わっていないことです。例会に参加しない会員の存在や伝える側の伝え方の問題がありますが、活動の内容に関心を持っていない会員が過半数以上存在することが一番の原因だと考えます。自らの業務・活動であると捉えていないため、会員自らが情報を入手しようとしなくても問題の1つであると考えられます。情報は自然と耳に入ってくるものではなく、自らが取りにいかなければならない。

活動の主役は、会員と職員一人ひとりであることを再認識していただきたいと考えております。例会や総会に参加することだけがTKC活動に参加している、ということではなく、TKC会員事務所としてTKC北海道会の活動を理解して、事務所経営を行うことが会員としての最大の使命であると認識していただきたいです。

TKC会員は、自身が活動や理念を理解できれば良いと思わず、職員も含め事務所全員が理解できるよう指示していくことを使命としてください。

皆さまのご協力を得られたことや多くの方々に支えられたことへの感謝と喜びを感じた反面、関心を示していただくことへの難しさを痛感した1年となりました。話せば理解してくれる、お願いをすれば協力してくれる、同じ方向に進むことができる組織であると信じております。

これからも「挑戦」し続ける組織を目指します。引き続き多くの会員・職員の皆さまのご協力をお願いいたします。

第51回TKC全国役員大会開催される ～灼熱の福岡に熱き会計人集う～

未来に挑戦するTKC会計人

情熱!九州からTSU・NA・GU新たな時代を会計のチカラで

7月18日(木)、19日(金)ヒルトン福岡シーホークにて、総勢920人が一堂に会し、TKC全国役員大会が開催されました。

華やかなオープニングビデオで、 記念式典はじまる

山之内浩明大会委員長による開会の辞、国歌斉唱、物故者への黙とう、坂本孝司TKC全国会会長による主催者代表あいさつがありました。

また、自見はなこ内閣府特命担当大臣からのビデオメッセージ、服部誠太郎福岡県知事、太田直樹日本税理士会連合会会長、3人の方から来賓祝辞をいただきました。

続いて、委嘱状、感謝状の授与式の後、飯塚毅賞の発表があり、『TKC基本講座(第五版)』改訂プロジェクトが、選ばれました。代表して服部久男会員へ賞状が渡され、登壇したプロジェクトの面々

が記念写真に納まりました。

正副会長会からの報告では、佐藤正行副会長が登壇し、まず全国会の3つの運動方針を再確認しました。加えて、達成すべくそれを支える地域会・支部の活性化の3本柱(①TKC会員事務所の経営基盤の強化 ②会員増強とニューメンバーズ会員フォロー ③TKCブランドの確立)をやり切り、「巡回監査を断行し、企業の黒字決算を支援するTKC集団を形成しよう」とお話しされました。

さらに、この2年半で積み上げてきた成果を総括され、「今後は外部環境の変化を踏まえると、巡回監査の断行とTKCシステムの徹底活用が、DXを基礎とした4大業務の同時提供につながっていくことになる。ひいては社会の要請に応える事務所が構築され、さらには事務所の生産性向上と高付加価値経営へと続いていくことになる」と話されました。



そして、「これらは職員の待遇改善、職員の成長、業務に対するやりがい・誇りにつながり、人材の定着・確保へとつながっていくという好循環を生み出していく」とも話されました。

最後に3年間の集大成である目標を再確認し、「現在上位の地域会を蹴落とし、表彰旅行であるロサンゼルスまで満喫しましょう。そのために残り半年ラストスパート!運動方針を全力でやりきって次のステージに共に進みましょう!」と締めくくりました。

続いて、株式会社TKC飯塚真規社長より「TKC報告」がありました。

まずはBAST優良企業が昨年から増えた一方、課題が見えてきたとお話がありました。

それは、資本欠損または自己資本比率が20%未満の関与先が48%を数え、これらの企業をどう救っていくか、自己資本をどう厚くしていくかという支援がこれから重要課題になってくる、とのことでした。

また、職員の業務負荷とシステム利用についてのお話をされました。昨年からはじめたインボイス対応が本格化し、翌月巡回監査割合、一気通貫割合の高低により、決算・申告業務に要する時間が大きく

違っていることがはっきりしてきている、とのことでした。

「オンライン処理時刻を深く分析してみると、一気通貫割合0%の場合、申告期限近い、それも18時以降から深夜帯に残業している様子が見えかわれる。こういうことから、TKCシステムの徹底活用は、職員の業務負荷の軽減に寄与し、そうしなければ、新しい職員の採用どころか、現在の職員までもが他の職業へ転職し、事務所自体の存亡の危機になる」と。

「今後も株式会社TKCはインボイス対応なども含めて、システムのさらなる利便性を高めて、職員の生産性をより高めていく支援をしていきたい」とお話しされました。

他には、月次速報サービス、得意先順位月報の利活用、ペポルインボイスの推進による業務の効率化などのお話をされて、TKC報告は終了しました。

ところで、来年の全国役員大会は7月17日に札幌で開催されます。ユニークな北海道の紹介映像が流され、北海道会本間貴久会長、宮下直樹実行委員長が登壇しました。来年の開催を紹介して、式典を締めくくりました。

会長講演 「会計事務所の経営革新 -月次巡回監査がすべての基本-」

会場を移して、坂本孝司TKC全国会会長の講演がありました。テーマは「会計事務所の経営革新-月次巡回監査がすべての基本-」です。

坂本会長は、今回の改正政治資金規正法について、「7つの提言のうち6つが実現したが、会計帳簿、複式簿記にかかる提言については残念ながら、附帯決議にされてしまった」。

「しかし、大きな前進である。これらの成果の背景には、登録政治資金監査人の7割を占める税理士が独立公正な立場で国会議員の帳簿を監査してきたことが、世間や政治家の見方をガラッと変えてきた」と冒頭に触れられました。

話は本題に入り、まず会計事務所を取り巻く経営環境の厳しさを指摘しました。「雇用環境やDXの社会からの要請は多数にあるが、結局のところ問題の本質は今から55年前、飯塚毅名誉会長が『電算機利用による会計事務所の合理化』で指摘したことと何ら変わらない」。

「この厳しい状況で今どうか。ここ10年、翌月巡回監査率が落ち続けている。経営者が月次決算を入手できない割合が高くなっている。これは業界の崩壊へとつながっていくということから、今回の全国役員大会において、4大業務の基盤である巡回監査がテーマとなった」と話されました。

次に、「会計事務所においても経営革新は不可避である。そのためにはイノベーション(新結合)が不可欠ではあるが、それは決して全くやっていないことではない。税理士の4大業務がまさにそれで、その今起きている未来を一般普遍的な本来業務に徹底することである」。

「そして、4大業務の同時提供の中心にあるのは会計帳簿(仕訳)であり、それをカバーするのは

月次巡回監査である。TKCシステムはシームレスでこれをカバーしている」とし、仕訳の一つ一つまで会計記録の適法性(税法、商法、会社法等)を確認する税理士の巡回監査と公認会計士の監査業務との決定的な違いを示しました。

続けて、税理士の4大業務について、少し駆け足でそれぞれの関係性などを再確認し、総括するように「感動呼ぶ巡回監査に近づけたのではないか。その感動を顧問先や顧問先予備軍にもしっかり伝えていかなくてはならない」と訴えました。

最後に「税理士の4大業務の同時提供は、月次巡回監査がすべての基本である。その巡回監査の成否は経営者の意識改革をすること。起票代行は絶対にやめ、自計化で、1円のごまかしもさせない。そうすると、優良な関与先になり、1件1件から感謝を受ける。そうしたより良い職場環境の下、高付加価値を勝ち取っていききたいものだ。この1年間、職業会計人として成功裡に歩まれること、そして、地域に大きな影響を及ぼしてください」と、まとめられ講演を終えました。

原田伸宏プロジェクトリーダーの 基調講演で2日目が始まる

2日目は、「会計事務所の経営革新」検討プロジェクト・中間報告と題して、原田伸宏プロジェクトリーダーの基調講演から始まりました。

原田PJリーダーは、まず前日の坂本会長の結論に倣って「経営革新とは意識改革である。今まで通りのやり方ではだめ。ただ、先行くTKC会員のトップランナーはすでに経営革新を始めており、近未来の会計事務所像を実現しつつある。これを多くの同業者に伝えていくということが大きな課題である」と述べられました。

そして「会計事務所を取り巻く外部環境は厳しさを増し、経営困難になる時代に突入している。これ

からは今以上に社会から評価され、なくてはならない職業としていくために、経営革新が必要となる。これは飯塚名誉会長が30年前から明確に説かれていた」と指摘しました。

続けて原田PJリーダーは、「経営革新を実現するための〈近未来の巡回監査〉のあり方を検討する、『会計事務所の経営革新』検討プロジェクトが設置された。目的は、『TKCシステム』の徹底活用と月次巡回監査の断行による税理士の4大業務の同時提供を時代に合わせ新結合(イノベーション)し続ける実践力のある事務所体制を構築することにある。そのための施策(〈近未来の巡回監査〉の手引きやイメージ動画の作成)が進行中である」と紹介した後、「会計事務所の近未来像は、身近な、先行くTKC会員のトップランナーたちである。彼らは経営革新を実現しながら、多くの会員が抱える悩みを克服してきている。それは、生産性や収益構造、KFSの実践割合などを分析すると明らかである。したがって、トップランナーに倣って会計事務所の経営革新に取り組むべきだ」と話し、最後に繰り返し会計事務所の経営革新の必要性を訴え、講演を締めくくりました。



シス研LIVE NEWSの様子

パネルディスカッション

税理士の4大業務を同時提供するための 「近未来の巡回監査」とは

コーディネーター

TKC全国会副会長 加藤 恵一郎

パネリスト

TKC全国会システム委員長 岩崎 博 信

TKC全国会巡回監査・
事務所経営委員長 吉野 太

株式会社TKC代表取締役社長 飯塚 真規

テーマ

1. 4大業務の同時提供と巡回監査
(あるべき姿、変わらないもの)
2. 環境変化と巡回監査
(あるべき姿の実現に影響するもの、変わるもの)
3. 予想される「近未来の巡回監査」
(環境変化に対応するための打ち手)
4. 「近未来の巡回監査」に向けて今から実践すべきこと
5. 参加者へのメッセージ
(パネルディスカッションはタイトルのみ掲載)

以上、2日間にわたって、福岡で開催されたTKC全国役員大会は、900名を超える参加者が一堂に会し、迫力も臨場感も違い素晴らしい大会であったと思います。来年はいよいよご当地札幌での開催。素晴らしい意義ある大会にしていきたいものです。

(広報委員長 坂本 文彦)

※上記の様子はProfitとオンデマンド研修で見ることができます。ご視聴ください。



就任のあいさつ

巡回監査・事務所経営委員会 委員長 蝦名 和広

今年度より巡回監査・事務所経営委員会、委員長を仰せつかりました蝦名和広と申します。

遠藤成紀前委員長からは、2年ほど前から「自分の後任にあなたを!」ということでプンプン句合わせの言葉をいただいておりますが、あまり真剣に受け止めて考えていなかったところ、正に寝耳に水がごとく急転直下の展開で拜命させていただく運びとなりました。

まことに身に余る光栄と恐縮の限りであります。しかし、菲才(ひさい)をも省みず大任をお引き受けしたからにはTKC北海道会、税理士業界の向上に資したいと強く思っております。

意余って力足らずと言いますか、今後とも多くの曲折と困難が予想されるばかりですが、力の限り邁進(まいしん)いたしたい所存でありますので、皆さまには、何とぞご指導、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。ここにご退任の前委員長のご苦勞に感謝いたしますと共に就任のあいさつとさせていただきます。



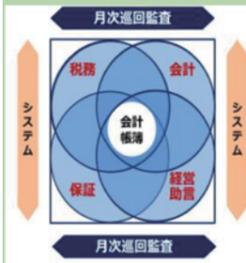
追伸

なお、遠藤前委員長より就任のお祝いということで、1度は丁寧に辞退を申し上げましたが、ご厚意により以後、毎月プロの目で厳選された旬の海の幸を贈呈いただくことになっていることをご報告いたします(笑)。



会計事務所の高付加価値経営実践講座2024 第1部：継続MAS研修（所長編）

7月5日(金)13時より、ホテルモントレエーデルホフ札幌にて開催しました。
54名の会員が、会計事務所経営における経営助言業務の重要性を再確認されました。



■オープニング■TKC北海道会 菅野浩副会長
関与先経営者と顔の見える関係を築くためには、坂本孝司TKC全国会会長が示す「税理士の4大業務」を徹底的に取り組みなければなりません。「未来を語るためのコミュニケーションツール 継続MAS」を活用し、経営助言業務の実践を通して、必然的に高付加価値経営につながる仕組みを作りましょう。

■テキスト：会計事務所の高付加価値業務実践講座■

会計システムのクラウド化が進み、証憑が仕訳に貼付されるようになると、関与先に行かなくても証憑の事前確認ができるようになり、関与先へ出向いて行う業務は限定され、監査にかかる時間が短縮されます。余った時間を経営助言に振り向けていきましょう。

会計事務所の
高付加価値経営
実践講座 2024 テキスト
令和6年5月31日版

I. 「関与先経営者と未来について話しましょう」湯谷委員長



TKC北海道会中小企業
支援委員会
湯谷 和彦委員長

10年後、20年後は税理士の仕事も変わります。国の計画では令和9年に確定申告を自動化するといわれています。ペポルをはじめとした業務の電子化により、仕訳は入力から読込む作業へ変化します。これからはデータをどう生かすかが鍵となり、私たち税理士の仕事も変化します。今のうちに関与先との「顔の見える関係」をより強固にすることが大事です。そのためにも経営助言業務を今から開始しましょう！

II. 高付加価値経営を実現するための事務所体制づくり

【経営助言業務の体制構築に不可欠な3ステップ】

- ステップ1 「事務所方針」を掲げる
- ステップ2 標準業務にするためのルールづくり
- ステップ3 例外を作らない仕組みづくり

この3ステップの実行に当たって、困難や障害に直面することも予想されますが、ここで諦めることは、事務所体制を確立するチャンスを自ら放棄することに他なりません。

まずは会計事務所の経営計画を継続MASで作成し、FXクラウドで業績管理を実施しましょう！

III. 経営者と未来について話せる職員の育成と事務所の仕組みづくり 5つの質問から作成する予算策定の2パターン

かんたん予算「決めパターン1」
パターン1：赤字の会社は「目標利益をゼロ」にする。あとは前年そのまま。

パターン1：赤字企業が黒字転換のために黒字化を実現するために必要な数値を売上高と限界利益で表現します。

5つの質問への設定

Q1 目標経常利益は？ 0

Q2 売上高の伸びは？ 100%

Q3 限界利益率は？ 前年実績をそのまま

Q4 従業員給与増との伸びは？ 100%

Q5 期末の人数は？ 前年のまま

赤字の黒字転換

赤字企業の場合

かんたん予算「決めパターン2」
パターン2：黒字の会社は、必要利益試算ボタンから利益を算定する。

パターン2：必要利益からの試算
黒字化程度ができていない企業に対して必要利益を基に損益計画を算定します。

5つの質問への設定

Q1 目標経常利益は？ 1年以内返済借入金額-減価償却費

Q2 売上高の伸びは？ 100%

Q3 限界利益率は？ 前年実績をそのまま

Q4 従業員給与増との伸びは？ 100%

Q5 期末の人数は？ 前年のまま

必要キャッシュ

黒字企業の場合

作成：TKC北海道SCGサービスセンター

「高付加価値経営」実践講座2024 第2部 MIS活用情報交換会

開催日時：7月5日(金)15:30~17:30
開催会場：ホテルモントレエーデルホフ札幌

I. 開会あいさつ

緊密な連携を図るため、双方がどのような業務を行っているか理解するための情報交換会、トークセッション企画となります。TKC会員事務所が実施する月次巡回監査と書面添付、MISにより、決算書の信頼性は識別が可能となります。



砂原政広TKC
北海道会副会長

II. 金融機関とのトークセッション



左から、市川善明札幌東支部長 北海道銀行 飛澤範行さま
北洋銀行 福井祥文さま 三菱UFJ銀行 仲野将也さま

Q. MIS「月次決算報告シート」の活用事例について

仲野 MISで決算書を提供される会計事務所には、月次試算表の提供も打診しています。TKC会員の皆さまには月次試算表の提供を標準化できるようTKCシステムを徹底活用していただきたいです。当行の活用事例として、P/L、B/Sのコメント欄から運転資金需要をつかむ事例がありました。翌日には案件検討会で前向きな対応が決定しました。
福井 得意先の業況を把握するためには月次試算表が必要です。MISを定期的に送付いただくことで得意先の支援に役立ちます。
飛澤 「月次決算報告シート」は企業の業況が1枚に集約されており、金融機関の立場から見ても、必要な情報がそろっていると感じています。時系列に経営課題を捉え、CFの動きが分かるので金融機関職員としてはとてもわかりやすくありがたいです。財務分析や経営助言業務の経験が少ない担当者にも標準化できます。お客さまの適切な支援につなげたいです。
市川 当事務所関与先の事例です。中間決算が大幅赤字で、加えて中間納税も発生。仮決算をして対応しようとした際、銀行担当者から融資の打診が来ました。きっかけはMIS月次試算表提供サービスです。銀行担当者が決算書や月次試算表の内容を把握しており、業況が赤字でも前期が黒字であり問題ないと判断したとのこと。納税資金と運転資金が十分補える分を融資いただきました。MISから決算書と月次試算表を送信していたことから、タイムリーな支援につながりました。

Q. 月次試算表を求める頻度を教えてください (20名の銀行担当者に回答いただきました)

- 半期ペースで提供してほしい → 0人
- 四半期ペースで提供してほしい → 12人
- 毎月提供してほしい → 4人

登壇者の反応)

提供いただいたからにはフィードバックが必要。業況が時系列に判り、かつ適切にフィードバックするには四半期ペースがベストです。毎月ペースだと負担が多く、半期ペースだと適切な業況把握が課題になると考えます。

Q. 企業とTKC会員が実施する「業績検討会」をご存じですか？

登壇者の反応)

ほとんどの担当者は「業績検討会」に参加したことがないと思います。想定ですが、税理士が経営者へアドバイスする場に担当者が同席することについて、遠慮するケースが多いと思います。

TKC会員の反応)

「業績検討会」に金融機関担当者が参加することに、抵抗はないです。コミュニケーションの機会として捉え、ぜひ積極的に参加してほしいです。

Q. MISのオプション帳表「添付書面」をご存じですか？

仲野 税理士が責任を持って税務当局へ提出されているため、情報の信頼性は高いです。特に「計算し、整理した主な事項」「顕著な増減事項」「増減理由」に記載される情報は、金融機関の立場から見ても参考になります。
市川 添付書面は納税者からの求めで作成するのではなく、税理士の権利として作成し、決算書の信頼性が高いことを主張しています。MISに添付書面が付いていましたら、ぜひご確認ください。

月次決算報告シート

利用サイクル	MISのオプション帳表	
	基本帳表	オプション帳表 (選択提供)
決算書等 提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別法記帳 個別法記帳付表 法人税申告書・別表 勘定科目内訳明細書 法人事業概況説明書 受信通知 (電子申告受付結果) 	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュ・フロー計算書 中小企業事情チェックリスト 記憶時系列チェックリスト 税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面 中期経営計画書、次期予算書 ローカルベンチマーク (対価情報・非財務情報) 減価償却内訳明細書
月次試算表 提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> 月次/四半期/半年 	<ul style="list-style-type: none"> 月次決算報告シート 月次試算表 資金繰り実績表 損益計算管理月報

作成：TKC北海道SCGサービスセンター

会計事務所の高付加価値経営実践講座2024 (所長編)に参加して

7月5日(金)に、ホテルモンレーデルホフ札幌で「会計事務所の高付加価値経営 実践講座2024(所長編)」が開催されました。

2部構成となっており、第1部は、「継続MASシステムを活用し、高付加価値サービスを実現する事務所運営や職員の育成方法を深く掘り下げる」をテーマとした研修会、第2部は、金融機関とのトークセッションを通して、MIS月次試算表提供サービスの価値を再確認する交流会でした。

第1部の研修会では、TKC北海道会中小企業支援委員会の湯谷和彦委員長が講師として登壇し、経営者と未来について話すことの重要性や具体的な方法について、湯谷委員長の事例を交えてお話しいただきました。

「会計事務所が毎月来ているが、経理内容のチェックや訂正指導にとどまり、経営者に監査済みの試算表を渡し、簡単な報告をするだけでは、経営者はわれわれの業務をどのように評価するのだろうか。おそらく大した評価はいただけないだろう」というようなお話がありました。

当方も、監査するだけで多大な労力が必要で、とても未来の話をする余裕がない関与先や、社長が数字にあまり関心がなく、そもそも巡回監査の時間に社長自身が現場におらず、継続MASを活用した予算の話提案する空気が醸成されていない関与先等が少なからずあり、現在進行形で課題に感じています。

このような課題を抱えながら研修を受講して特に重要だと感じたことは、まずは継続MASを活用して、

社長と未来について考えるという、私(所長)の実践意志です。1件ずつでもいいからこれを必ず実践し、やがて標準業務とすべく事務所体制を構築していきたいと強く思える研修でした。

この「会計事務所の高付加価値経営 実践講座2024」には続きがあり、後日「職員編」が3回行われます。具体的な継続MASの操作方法や社長との対話方法等の実践を学んでいく研修です。

つい先日(7月22日)第1回目が開催され、当方も参加しました。前期の叩き台の数字を基に、継続MASの「5つの質問」から短期経営計画を現場で作成し、社長との対話の中で計画をその場で数字に落とし込んでいくことをロールプレイングしました。

これなら自分にもできそうだし、社長にもご好評をいただけるのではないかと手ごたえを感じています。2回目・3回目も参加し、継続MASを計画策定ツールではなく、社長対話ツールとして活用していきたいです。

第2部の金融機関との勉強会、MIS活用交流会では、19名の金融機関の方が参加されました。前半はトークセッション、後半は金融機関とTKC会員のディスカッションを行いました。

トークセッションでは、司会進行役に市川善明札幌東支部長、パネリストには三菱UFJ銀行仲野将也TKC事業室室長、北洋銀行福井祥文法人推進部管理役、北海道銀行飛澤範行融資部部長に登壇いただきました。

自己紹介から始まり、市川支部長があらかじめ用意していた質問に回答していただきました。また、

途中からは参加いただいた金融機関の方全員を対象とした質問もありました。

特に印象に残っている回答は、「MISの提供資料の中の『月次決算報告シート』はポイントを押さえたとても良い資料となっており、実際に融資につながった事例がある」「試算表の確認をする頻度は四半期ペースがベスト」など普段聞けないような内容があり、とても有意義で勉強になりました。

金融機関とTKC会員のディスカッションは、円卓のテーブルを囲む形で行われました。MISの率直な

感想や、書面添付の評価などについてディスカッションを行いました。普段話す機会があまりない機会になり、とてもいい意見交流会でした。

最後に、今回このような研修会を企画していただいた中小企業支援委員会の皆さま、運営にあたり尽力していただいたTKCの皆さまに感謝すると共に、顧問先企業の成長・発展のために精進していきたいと思えます。

(札幌西支部 堀内 信吾)



I. FXクラウドシリーズの給与機能活用術 講師 ~TKC静岡会 税理士 中田 和宏 会員~



●TKC静岡会中田和宏会員プロフィール
昭和45年、浜松市生まれ。中央大学商学部卒。明治大学大学院商学研究科に進み、経営学修士取得。ディスカウントストア「ドンキホーテ」勤務を経て、平成8年に前身の兼子文夫税理士事務所に入社。平成29年税理士法人設立により代表社員に就任。

●あおぞら税理士法人について
昭和60年7月開業(開業39年目)
事務所人数:15名
資格者:税理士6名、税理士有資格者2名、科目合格者3名

◆FXクラウドシリーズ給与計算機能

(1) FXクラウドシリーズ給与計算機能について



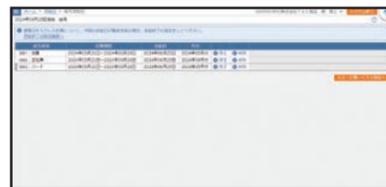
FXクラウドシリーズは会計システムだけでなく、給与計算と販売管理も一体のサービスとして提供することで、発生主義会計への対応を支援します。
給与計算機能が2023年11月提供されました。

(2) 給与計算の流れ(PXからの主な変更点)



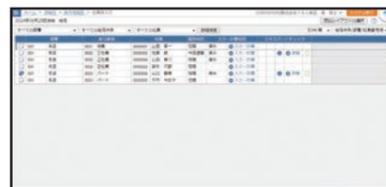
① 支給日の選択

1) 現行PXは月分を選択して入力を開始しますが、**支給日を選択して入力を開始**するようにします。これにより、同じ月分でも給与体系で支給日が異なる場合、同月に複数回支給がある場合の処理がわかりやすくなります。
2) 支給日は、給与体系の支給時期の設定に基づき、自動で登録できるようにします。



② 支給対象の体系

支給対象の体系を表示するとともに、支給日・月分に基づいたお知らせを画面上部に表示します。お知らせの内容について、詳細の確認、更新が必要な場合、お知らせから確認・更新画面を表示できるようにします。
これにより、処理の漏れを防止できます。



③ 支給対象の社員一覧

社員の就労状況(在職、休職中、今回退職)、入力・計算状況、計算後のエキスパートチェック結果を一覧で確認できるようにします。



④ 社員別入力

1) 勤怠支給控除項目を1画面で表示します。
2) 計算結果の確認画面では、画面上部にエキスパートチェック結果を表示し、修正が必要な場合、[修正]ボタンから入力画面に切り替えられるようにします。

II. 継続MASの現場活用術と標準業務化への道 講師 ~TKC東北会 税理士 高谷 新悟 会員~



●TKC静岡会高谷 新悟会員プロフィール
昭和52年、仙台市生まれ。東北大学経済学部卒。東北大学大学院経済研究科修士課程修了。有限会社スクラムマネジメント入社。勤務時代に税理士、社労士、CFPの登録をする。平成24年に株式会社クラフトマンを設立、代表取締役就任、前身となる高谷新悟税理士事務所を開設。
平成28年社会保険労務士法人クラフトマン設立。
翌平成29年税理士法人クラフトマンを設立。(法人化)

●税理士法人クラフトマンについて
平成24年6月開業(開業11年目)
事務所人数:20名(内、短時間勤務1名)
特徴:個性豊かな各分野の職人集団
資格:税理士2名、行政書士1名、社会保険労務士2名、ファイナンシャルプランナー1名
宅地建物取引士1名 ※複数資格所有者は再掲

テーマI 意識改革

- 経営助言の意義
 - 「経営助言」とは社長の意思決定に対する支援です。
 - 社長さんの身近な相談相手になることが何より肝要です。
- 経営助言のためのツール
 - 巡回監査の際に30分だけでも社長に時間を取ってもらい、経営状況について話をしましょう。
 - これを実現するツールが「継続MAS」です。
- 継続MASの必要性
 - 継続MASの目的は、関与先企業における業績管理体制の構築と定着のお手伝いにあります。
 - 毎月の巡回監査を通じて経営助言業務として実施していきます。
 - 継続MASには社長に計画と実績の差の原因と経営課題を考えていただき、行動を促すツールとしての機能があります。毎月の巡回監査を通じて、業績管理体制の構築と定着をサポートすることが大切です。

テーマII 実践編

- 継続MASでカンタンに経営助言ができる
 
- 計画策定に必要な情報は5つだけ！
 - 次期の目標利益はいくらとしますか？
 - 次期の売上高の伸びを前年比でどう見えていますか？
 - 次期の限界利益率(粗利益率)をどれだけ確保できますか？
 - 次期の従業員給与・賞与を前年比でどう見えていますか？
 - 次期の期末の人数は何人ですか？

テーマIII 標準化

「5つの質問」の基本は、「黒字企業」と「赤字企業」の2パターン

1. 黒字企業の場合

- 目標利益 = 前年と同額
- 売上高の伸び = 対前年比105.0%
- 限界利益率(粗利益率) = 前年と同じ
- 従業員給与・賞与 = 前年比100%
- 期末の人数 = 前年と同人数

2. 赤字企業の場合

- 目標利益 = とりあえず100千円
- 売上高の伸び = 一旦対前年比100%
- 限界利益率(粗利益率) = 前年と同じ
- 従業員給与・賞与 = 前年比100%
- 期末の人数 = 前年と同人数

テーマIV 職域防衛・運命打開

TKC方式の自計化、経営助言、その先の未来

FXクラウドシリーズを徹底活用した後の月次巡回監査の姿

【第1軸】証憑突合・確認業務 よりスマートに、合理的に、場所を選ばず

【第2軸】関与先訪問時の業務…経営助言業務に重心

現地訪問の意義が問われる より人間力が求められ、情熱の伝播が求められる

TKC北海道医業会計システム研究会について

TKC北海道医業会計システム研究会(北医研)の代表の柳川英樹です。今回は北医研の活動内容について紹介させていただきます。

北医研は、平成15年7月16日に設立し、今期で22期目を迎える研究会です。

「職業会計人の職域防衛と運命打開」の具現を企画し、株式会社TKCとの密接な連携を元に、病院・診療所の経営を熟知すると共に、専門的研究と具体的事案の解決を行うことを目指しております。

具体的な活動内容としては、年2回の集合研修と年1回のWeb情報交換会を実施しております。

研修では、医療関係の書物を多数出版されている青木恵一さまや、診療報酬点数を熟知し多数の講演をこなす中林梓さまなどの有名講師をお招きしております。特に中林さまの講演は、TKCのオンデマンド研修にも収録されておりますが、生で講

演を聴けるのは北海道会だけの特典となります。

他にも、日本M&Aセンターの医療担当者をお招きして医療業界のM&Aについて、特定社会保険労務士の方より病医院の働き方改革について講演していただいております。

Web情報交換会では、病医院の新型コロナウイルス感染症対応、M-BASTの活用方法、医療法人の経営情報報告書などをテーマに情報交換を実施しております。

北医研の会費は、2年に1回10,000円の請求をさせていただきます。1年あたりにしますと実質5,000円となります。お招きしている講師の研修を外部で受講しようとすると倍以上の費用がかかるかと思っております。医療関係の顧問先を担当している会員の皆さまは、ぜひ加入をご検討ください。

(TKC北海道医業会計システム研究会
柳川 英樹)

「資産対策研究会」活動のご紹介

TKC全国会資産対策研究会では、資産税とその周辺業務を研究し、資産税事案を的確・円滑に処理する上で必要な知識や判断力を養うための研究を行っています。

主な活動内容としては、次の4つです。

1. 定例研究会の開催(資産税等の研修)

TKC税務研究所の特別研究員を講師として、資産税に関する租税法の解釈・適用に関する研修として開催しています。現在は、専門図書を使った年間4回の研究テーマによる研修とオンデマンド研修による年間2回の資産税に関するトピックス解説をオンデマンド配信で開催しています。無料で受講できます。

研究テーマによる研修では、研究会会員相互の経験共有や問題解決のための意見交換の時間を設けています。

2. 特別研修会の開催

事業年度に2回、春と秋に開催しています。春期特別研修会では税制改正を中心に研修を行い、秋期特別研修会では旬の重要課題や当研究会の実践的研究成果等を取り上げて研修します。最新の税法に精通いただくため、毎年、専門図書『すぐわかるよくわかる! 税制改正のポイント』を研究会会員に進呈し春期特別研修会で解説しています。

3. TKC財産承継アドバイザー制度

相続対策、相続税申告業務から遺産整理業務まで幅広いサービスを行えるよう、相続税申告業務の基礎を学ぶための入門講座として毎年12月に開催しています。当研修会の受講は、「TKC財産承継アドバイザー」認定のための必須研修となっております。

4. 相続対策業務への取り組み支援

TKC全国会ネットワーク(ProFIT)の「資産対策研究会会員専用のライブラリー」に標準レジュメおよび相続対策支援システム(TPS8200)の活用事例を掲載しています。

標準レジュメは当研究会会員が無料でダウンロードし、自由に加工できるようにしていますので、相続セミナー講師の受託、事務所主催のセミナー開催、顧客への説明資料作成などで自由に利用できます。

会員の皆さまにおかれましては、ぜひこの機会に資産対策研究会に入会して、全国規模のネットワークを通じてTKCシステム(TPS8000)を活用することにより、資産税業務に精通し、かつ専門的研究を通じて得た高い業務品質で関与先の皆さまをサポートできる事務所になりませんか。

※定例研究会の時間は13時30分～17時(3時間30分)で、開催場所はセンター研修室にて行っています。

(資産対策研究会幹事 佐藤 伸泰)

原点の会の活動報告

「原点の会」は、「TKCの理念」について、千葉県妙性寺の高橋宗寛和尚と共に、飯塚毅全国会名誉会長の著書『会計人の原点』および「TKC 会計人の基本理念〈25項目〉」を読み合わせながら理解を深めていく会です。

その読み合わせの中で出てくる「TKC理念の根底にあるものは何か」、「一所懸命生きるとは何か」、「本当の自分とは何か」、「職域防衛運命打開とは何か」という疑問を、飯塚名誉会長と多くの対話をされてきた高橋和尚が、丁寧にかみ砕いて伝えていただける場です。最近では、若手の会員の参加も増えておりまして、今まで以上に和やかな会となっております。

「原点の会」の開催は、年に4回を目標としてスケジュールを組んでおります。今年度の第1回目は、6月20日(木)に開催をいたしました。次回の第2回目は、9月11日(水)15:00から会員の部、翌日12日(木)9:15から職員の部を予定しております。コロナ禍の前は、座禅の会も開催をしておりました。その座禅の会も、そろそろ再開をさせていただく予定となっております。

第1回目は以下のような内容となっております。例年では、4月頃に第1回目を開催させていただいておりましたが、今年度は、3月に高橋和尚の膝の手術があったため、リハビリ等の状況も踏まえて6月に開催することとなりました。術後の経過が非常に心配されておりましたが、変わらずとてもお元気そうで何よりでした。

第1回目の「原点の会」では、高橋和尚から干支にちなんだ題材を基にTKCの理念を深めていくことが恒例となっております。今回は『大燈国師語録』

の中から「作龍上天作蛇入草」(サリュウジョウテン サジャンニソウと読むそうです)についてご説明をいただき、本当の生き方についての理解を深めました。

その後、基本理念25項目の11の読み合わせを行い、最後は、高橋和尚の入院時に遭遇した「自利利他」の実践についてのお話をいただきました。

具体的な内容は、ぜひご参加いただくと、またどこかでお聞きできるかもしれません。すべてのお話についてはTKC理念につながるものとなっております。

会員の皆さまにおかれましては、日々の業務、日々の生活の中で、常に「自利利他」を実践されていることと思われまします。原点の会では、その「自利利他」、本当の自分などに真正面から向き合うことのできる有意義な時間でありまします。心のリセット、原点を見つける時間として、多くの会員および職員の皆さまに、ぜひ、ご参加いただければと思っております。よろしく願いいたします。

(原点の会 世話人代表 村岡 学)



旭川信用金庫_T K C旭川支部 交流会

開催日：7月12日(金)、16日(火)

7月12日、16日と2日間に分けて、旭川信用金庫(支店長)とTKC旭川支部会員の交流会を開催しました。開会あいさつは、實吉支部長と理事の後藤さまがそれぞれ務められ、「交流会を通して、双方の関係性を強化し地元企業を支えていきたい」旨のお話がありました。

【参加人数】

7月12日 旭川信金10名 旭川支部10名
7月16日 旭川信金11名 旭川支部8名



7月12日
開会あいさつ
實吉孝範 支部長



7月16日
開会あいさつ
理事 後藤正則 さま

旭川信用金庫研修室にて勉強会を開催

「TKCモニタリング情報サービス」をテーマにTKC旭川支部からは薄井タカ子会員よりMISや書面添付の説明、継続MASの紹介を行い、TKC会員の取り組みをお伝えしています。支店長からは「ぜひ、月次試算表サービスの拡大をお願いしたい」との要望が出るなどTKC会員の活動に関心を持っていただきました。また旭川信用金庫からは金融支援部審査役の関沢さま(12日)、菅原さま(16日)より、7月5日に札幌で開催された「MIS活用情報交換会」の内容をベースにTKCモニタリング情報サービス推進についてお話しいただきました。4月に開催されたトップ対談の合意事項である「TKCモニタリング情報サービス(MIS)推進において、貸出融資件数に対して10%超を引き続き目指し、双方で推進に取り組んでいく」の実現に向けて、良い機会となりました。



懇親会也大いに盛り上がりました!

勉強会終了後は会場を「四季の料理・郷土料理たま川」に移し、懇親会を開催しました。勉強会で確認した内容の深掘りをはじめ、さまざまなことに対して意見交換がなされお互いを知る時間となりました。



懇親会の様子

TKC北海道会



行職員向け研修会開催報告

～ 7月も各地で行職員向け研修会が開催されました ～

◆空知信用金庫

開催日：7月10日（水）

空知信用金庫にて「決算書の信頼性の見極め方」をテーマに職員31名に対して研修会（Web）を開催しました。講師は空知支部の八幡吉昭支部長が担当され、不適切な会計処理を起こさない仕組みとして、TKCモニタリング情報サービスの紹介をされています。アンケート結果から税理士に対する期待、TKCの仕組みを評価する声を多くいただきました。



講師
八幡吉昭支部長



空知信用金庫の声（アンケート結果より）

【感想】

- ・決算書の作成手順を学んで、より信頼性の高い決算書を作成いただいていることが分かりました。
- ・今後、決算書を見るときに一步深く読み取れそうです。
- ・TKCのさらなる普及により事務の効率化につながれば良いと思います。

【税理士に期待したいこと】

- ・財務内容等について、金融機関・税理士間での意見交換やヒアリングができるようにしたい（企業同意を前提に）
- ・信頼性のある決算書を通じてお互いに中小企業を支援してきましょう。

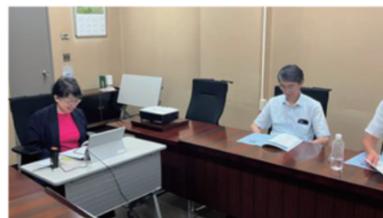
◆旭川信用金庫

開催日：7月23日（火）

旭川信用金庫にて「決算書の信頼性の見極め方」をテーマに職員91名に対して研修会（Web）を開催しました。講師は旭川支部の薄井タカ子会員が担当され、TKC会員が行っている業務をベースに不適切な会計処理を起こさない仕組みを説明されました。アンケート結果からも税理士と共に顧客支援に当たっていききたいとの声を多くいただきました。



講師
薄井タカ子会員



旭川信用金庫の声（アンケート結果より）

【感想】

- ・親交を深めるためにも今回のような企画は良かったと思います。
- ・もう少しTKC会員事務所の取り組みについて詳しく聞きたかった。
- ・限られた時間内だと伝達内容や情報は少ないです。数回に分けて開催していただくと助かります。
- ・大変分かりやすく聞きやすい講義でした。ありがとうございました。

【税理士に期待したいこと】

- ・苦しんでいる企業の財務改善に向けて一緒に取り組みたい。
- ・経営改善への取り組みを一緒にやっていきたい。
- ・顧客に対して、互いにWin-Winの提案ができる関係の構築を目指したい。

TKC北海道会

道内金融機関MIS対応状況一覧表（7月31日現在）

TKC北海道会会員 各位

令和6年7月吉日
TKC北海道会 会長 本間 貴久

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供サービス 申込件数	月次試算表提供サービス 申込件数	支店数	1支店あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数※に占める MIS割合
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,673	187	144	11.6	14,092	11.9%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,458	365	171	20.2	28,775	12.0%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,220	120	81	15.1	10,952	11.1%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	117	6	26	4.5	2,082	5.6%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	287	31	21	13.7	3,043	9.4%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	276	37	27	10.2	2,252	12.3%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	286	62	23	12.4	2,134	13.4%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	46	2	7	6.6	1,010	4.6%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	127	37	14	9.1	907	14.0%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	68	11	8	8.5	948	7.2%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	40	6	11	3.6	740	5.4%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	90	13	20	4.5	2,235	4.0%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	446	59	40	11.2	5,682	7.8%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	140	23	24	5.8	1,649	8.5%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	227	20	17	13.4	2,114	10.7%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	179	16	22	8.1	1,531	11.7%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	875	75	29	30.2	4,736	18.5%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	283	60	18	15.7	1,796	15.8%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	114	17	24	4.8	2,065	5.5%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	264	38	29	9.1	3,702	7.1%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	155	29	19	8.2	1,626	9.5%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	100	9	20	5.0	590	16.9%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	242	29	26	9.3		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	172	14	14	12.3		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	148	42	9	16.4		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	165	10	8	20.6		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	64	14	5	12.8		
28	十勝清水町農業協同組合	その他	○	○	12	6	1	12.0		
29	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	2,985	204	10	298.5	20,696	14.4%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会はじめ16金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金はじめ12金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう！

1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1 北海道銀行	8 空知信用金庫	15 北星信用金庫	22 日高信用金庫
2 北洋銀行	9 北門信用金庫	16 空知商工信用組合	23 室蘭信用金庫
3 道南うみ街信用金庫	10 稚内信用金庫	17 釧路信用金庫	24 留萌信用金庫
4 北海道信用金庫	11 帯広信用金庫	18 十勝信用組合	25 遠軽信用金庫
5 苫小牧信用金庫	12 北見信用金庫	19 大地みらい信用金庫	26 十勝清水町農業協同組合
6 旭川信用金庫	13 渡島信用金庫	20 釧路信用組合	27 伊達信用金庫
7 北空知信用金庫	14 網走信用金庫	21 北央信用組合	28 札幌中央信用組合

■都市銀行等■

1 三菱UFJ銀行	5 商工組合中央金庫
2 りそな銀行	6 日本政策金融公庫
3 三井住友銀行	7 北海道信用保証協会
4 楽天銀行	8 みずほ銀行

■道内に支店がある他県の金融機関■

1 北陸銀行	5 スルガ銀行
2 みちのく銀行	6 七十七銀行
3 秋田銀行	7 青森銀行
4 第四銀行	



2.TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義
3	札幌東	札幌市北区	税理士法人ジャパンタックス申告会	池戸 俊幸
4	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明
5	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新
6	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
7	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
8	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一
9	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎
10	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
11	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
12	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規
13	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資
14	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
15	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
16	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
17	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
19	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカサヤ総合事務所	佐々木俊彦
20	札幌東	恵庭市	佐藤孝尚税理士事務所	佐藤 孝尚
21	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
22	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰
23	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣
24	札幌東	札幌市北区	税理士法人すみよし会計総合事務所	住吉 赴夫
25	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
26	札幌東	札幌市白石区	竹内美哉税理士事務所	竹内 美哉
27	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也
28	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅
29	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹
30	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
31	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
32	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
33	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
34	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
35	札幌東	札幌市東区	名越隆雄税理士事務所	名越 隆雄
36	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
37	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
38	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
39	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典
40	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
41	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
42	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
43	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
44	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
45	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
46	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
47	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
48	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
49	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
50	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
51	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ税務会計	阿部 真澄
52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
53	札幌西	札幌市中央区	石川透税理士事務所	石川 透
54	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	石川 由男
55	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
56	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
57	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
58	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
59	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
60	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男

No	支部	所在地	事務所名	会員名
61	札幌西	札幌市中央区	川崎税理士事務所	川崎 努
62	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
63	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
64	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
65	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
66	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
67	札幌西	札幌市中央区	外館英樹税理士事務所	外館 英樹
68	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
69	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
70	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
71	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
72	札幌西	札幌市中央区	林田敬二税理士事務所	林田 敬二
73	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
74	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
75	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
76	札幌西	札幌市中央区	スズメ税理士法人	松本 剛明
77	札幌西	札幌市西区	三上税務会計事務所	三上 香織
78	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	長田 幸雄
79	札幌西	札幌市西区	村岡学税理士事務所	村岡 学
80	札幌西	札幌市中央区	森下敏美税務会計事務所	森下 敏美
81	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
82	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
83	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
84	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
85	札幌西	札幌市中央区	湯澤武憲税理士事務所	湯澤 武憲
86	札幌西	札幌市中央区	吉田淳税理士事務所	吉田 淳
87	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
88	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
89	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
90	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
91	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
92	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
93	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
94	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
95	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
96	函館	函館市	田村維之税理士事務所	田村 維之
97	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
98	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
99	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
100	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
101	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
102	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
103	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
104	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
105	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
106	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
107	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓
108	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子

No	支部	所在地	事務所名	会員名
109	旭川	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
110	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
111	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
112	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
113	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
114	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
115	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田悌津夫
116	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
117	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
118	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
119	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
120	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
121	旭川	旭川市	丸山和也税理士事務所	丸山 和也
122	旭川	旭川市	税理士法人北都會計	渡辺 祐吉
123	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
124	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
125	北見	網走市	税理士法人オホツクネクスト経営会計	南都 正弘
126	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 蒼康
127	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
128	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
129	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
130	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 涉
131	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
132	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
133	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
134	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
135	帯広	帯広市	税理士法人きすな会計事務所	佐藤 達徳
136	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
137	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
138	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
139	帯広	帯広市	田中聡税理士事務所	田中 聡
140	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
141	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
142	帯広	帯広市	東城会計事務所	東城 敬貴
143	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
144	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
145	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
146	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
147	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
148	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
149	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
150	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
151	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
152	苫小牧	室蘭市	駒井桂何税理士事務所	駒井 桂何
153	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
154	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
155	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦

TKC北海道会
早期経営改善計画策定支援NEWS

令和6年8月2日版

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 本間 貴久

早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

[令和6年8月2日現在・順不同・敬称略]

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川善明	32	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎新	33	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎公治	34	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田圭史	35	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田幸広
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	36	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田栄吾
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股修二	37	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷裕幸
7	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田納規	38	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平康夫	39	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川拓厚
9	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤伸泰	40	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山高治
10	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮純	41	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷和彦
11	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口和雅	42	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田勉	43	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島拓也
13	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川信喜	44	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋慎吾
14	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田浩貴	45	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村栄章
15	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬晃典	46	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西康子
16	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田時人	47	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺亨
17	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本康男	48	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺祐吉
18	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間貴久	49	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都正弘
19	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南優香	50	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林強
20	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下浩	51	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
21	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川英樹	52	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本健人
22	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美幹生	53	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡吉昭
23	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田聡	54	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合敏
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇竜太	55	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海有起
25	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名和広	56	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原政広
26	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館政男	57	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川博之
27	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川裕也	58	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井宏
28	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中昌幸	59	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀伸彦
29	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木康弘	60	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤康範
30	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中裕之	61	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木圭介
31	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井正人					

1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」および「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

TKC北海道会

中小企業支援委員会 / システム委員会 / 巡回監査・事務所経営委員会

支部例会・研修会だより

FROM SORACHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



第4回例会・研修会開催

6月18日(火)に第4回例会・研修会を岩見沢市のコミュニティプラザで開催いたしました。

研修会はシステム研修で「DX時代への対応」というテーマで行いました。坂本健人会員に講師をしていただき、4月にシステム委員としてTAXA税理士法人(北條貴裕会員・東京中央会)の事務所見学会に参加した際の資料を使い、業務のDX化の進め方について講演いただきました。

支部例会は、会員現地参加7名、Web参加2名、関連企業から5名ご出席いただきました。また今回は、北海道会の企業防衛推進委員会副委員長と

して札幌西支部の國分敬祐会員にもご出席いただき、キャンペーン期間中の事務所実働率100%に向けた激励のお言葉をいただきました。

例会の内容としては4月に行われた北海道会理事会の内容周知がメインとなり、金融機関とのトップ対談、電子納税推進キャンペーン、書面添付キャンペーン、高付加価値経営実践講座の案内等を行いました。委員会報告では山田和訓会員から企業防衛委員会報告、中浦孝一会員から書面添付委員会報告がありました。

(空知支部長 八幡 吉昭)





支部例会・研修会だより

FROM SORACHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



支部例会

6月28日(金)、旭川トーヨーホテルにおいて支部例会が開催されました。

例会前には「事務所経営塾」が行われ、多田陽平システム委員長から、4月3日に事務所見学で訪れたTAXA税理士法人(北條貴裕会員・東京中央会)における自計化の推進、FinTechサービス等の仕訳の自動化等、事務所見学会のフィードバックを絡めたシステムの推進について説明がありました。

TKC北海道会システム委員会企画「FXクラウド推進キャンペーン」で第1位に輝いた薄井タカ子会員からは、事務所内で行われたクラウド推進事例について説明がありました。

支部例会は、多田総務委員長の司会で、實吉孝範支部長のあいさつから始まりました。その中では、1年間の振り返りと、来年に向けた支部の取り

組みの意見収集についてお話がありました。

続いて、齊藤将基センター長からTKC北海道会報告があり、金融機関とのトップ対談、北海道会強化プロジェクト企画、キャンペーンの案内、秋季大学について説明がありました。

實吉支部長のTKC北海道会理事会報告では、北海道会の基本方針・重点施策の説明、支部活動における事業報告と事業計画について報告されました。



各委員会報告では、共済制度推進委員長から勉強会とキャンペーンについて、総務委員長からバッジ会員の増強についての報告がありました。巡回監査事務所経営委員長から年度重要テーマ研修の案内、企業防衛制度推進委員長から上期保険指導強化期間の推進状況、中小企業支援委員長から「高付加価値経営」実践講座の案内、NMS委員長からは当支部島田康弘会員による未入会向けセミナーの案内がありました。

その後、大同生命保険株式会社・株式会社TKCより報告があり、リスマネ委員会としての損害保険ジャパン株式会社との情報交換会を行い、TKC北海道会旭川支部の定期総会を8月2日に行うことを確認して、支部例会を終了しました。

支部例会終了後は、今期において支出できなかったレク予算を活用して、少しリッチな懇親会を行いました。

(旭川支部 広報委員長 舟橋 馨)





支部例会・研修会だより

FROM SORACHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



支部例会

6月19日(水)「アパホテル〈室蘭〉」にて、支部例会が開催されました。例会前には、登別カントリー倶楽部で、札幌東支部の会員も交えて、懇親ゴルフ大会を開催しております。

さて例会は、会員8名のほかTKC北海道会からいつもの役員の方、提携協定企業の方に加え、ゲストとして、札幌東支部から市川善明支部長、南優香副支部長、岩田圭史副支部長、広報委員会からは谷口卓弥会員が出席しました。

例会に先立ち、「金融機関が見る融資審査のポイント」について、日本政策金融公庫の二見友也さんにご説明いただき、引き続き長坂勝課長に、融資審査のポイントを説明していただきました。他、「税理士事務所での1日公庫」の開催、創業融資

審査に関しては、3,000万円までは支店で対応し、それ以上の場合でも他の金融機関と協調して、融資をしているなどの現状を説明いただきました。

その後例会では、TKC北海道会報告があり、その中で、苫小牧支部から例会出席率の件などの報告がありました。次に、企業防衛推進委員会の國分敬祐副委員長から企業防衛制度について、TKCからセンター報告があり、大同生命保険株式会社、大和ハウス工業株式会社、積水ハウス株式会社からそれぞれのお知らせなどがあり、6月例会は終了しました。

終了後、引き続きアパホテルで懇親会が開催され、いつもにも増してにぎやかな懇親会となりました。

(苫小牧支部 副支部長 小林 史郎)



はじめての書面添付研修【書き方講座】開催報告

7月25日(木)、TKC北海道会研修センターにて、講師に元国税職員であった札幌東支部の黒田納規会員をお招きし、「はじめての書面添付研修【書き方講座】」が開催されました。

冒頭では、最初は関与先の中で書面添付ができる法人から優先して始めること、TKCシステムをフル活用することで、効率良く作成すること等、具体的にどのように書面添付を始めたらいかにについて教えていただきました。

今回の研修は実践型ということで、ストーリーが設定された架空の法人の、試算表や科目内訳書、消費税の検討表等が与えられ、TPS1000を用いて実際に書面添付を作成しました。

まずは、グループに分かれて与えられた資料の読み取りを行い、書面添付に記載すべき事項をピック

アップし、その内容について黒田会員にアドバイスをいただきました。

次に、そのアドバイスをもとに、参加者それぞれが書面添付の「計算し、整理した主な事項」の作成を行いました。

最後に、作成した書面添付の発表を行い、黒田会員に税務署側からの視点で講評をしていただきました。

具体的には、売上が伸びているが所得が増えていない場合、その理由を明確に記載すべきことや、金額が大きく、税額に影響を与えている項目をとりわけ記載することが重要であること等、税務当局がどのような視点で、どのような項目に目をつけているかを教えていただき、大変勉強になりました。

研修の終了時刻間際まで、細かな質問にも対応していただき、参加者の満足度も非常に高かったと思います。私も、書面添付制度が、申告の適正性を証明する権利であること、1件でも多く実践することにより、納税者を守り、税務当局からの信頼を確保し、われわれ税理士の価値を高めていくことの重要性を、再確認することができました。

黒田会員、この度は充実した内容の研修を提供していただきまして、誠にありがとうございました。

(小樽支部 書面添付推進委員長 鶴間 光)



令和6年 書面添付実践件数 (令和6年6月末日現在)

令和6年 書面添付実践件数 (令和6年6月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績						
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	92	4	6	2	6	15	7	40
2		市川 善明	49	3	10	4	5	11	3	36
3		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	46	1	7	9	4	11	1	33
5		大林 慎一	5	0	0	1	0	0	0	1
6		加藤恵一郎	209	4	40	34	21	38	14	151
7		金子 雅行	8	0	1	0	1	2	1	5
8		金坂 和正	13	0	2	3	0	2	1	8
9		川股 修二	168	9	15	8	22	21	16	91
10		小平 康夫	46	0	4	4	4	8	4	24
11		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	8
12		坂本 文彦	8	0	3	0	0	6	0	9
13		佐々木忠則	225	6	24	43	17	36	18	144
14		佐々木俊彦	12	1	2	1	2	1	0	7
15		佐々木幸徳	34	0	2	1	6	8	0	17
16		佐藤 俊一	13	0	3	1	0	2	0	6
17		佐藤 孝尚	19	1	2	2	0	5	2	12
18		佐藤 伸泰	63	1	6	14	3	15	4	43
19		下坂 登	7	0	6	0	0	0	0	6
20		清宮 純	88	1	9	5	6	17	7	45
21		高野 真人	10	1	0	0	0	2	1	4
22		田中 慎也	5	1	0	0	0	0	0	1
23		谷口 和雅	26	1	3	4	0	8	2	18
24		千葉 寛樹	82	3	17	7	5	18	4	54
25		出口 秀樹	57	3	5	4	4	23	2	41
26		寺田 勉	80	1	14	13	6	13	9	56
27		中川 一俊	54	0	8	3	9	15	1	36
28		中川 信喜	60	3	6	8	4	8	6	35
29		中田 浩貴	27	0	2	5	1	1	2	11
30		名越 隆雄	2	0	0	0	0	1	0	1
31		能登 康広	9	0	1	0	1	0	2	4
32		原 幸四郎	57	1	1	6	5	8	0	21
33		廣瀬 見典	26	0	5	1	1	5	4	16
34		藤田 時人	57	4	5	4	7	6	5	31
35		藤谷 満雄	17	0	2	2	1	2	2	9
36		藤本 康男	4	0	1	0	1	0	0	2
37		本間 崇	2	0	0	0	0	0	0	0
38		本間 貴久	145	1	21	20	15	32	5	94
39		松本 隆臣	66	2	9	6	3	11	7	38
40		丸山 昭一	29	1	6	1	4	4	1	17

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績						
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
41	札幌東支部	南 優香	39	2	9	3	4	8	1	27
42		宮下 直樹	242	8	57	39	13	31	7	155
43		宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0
44		森下 浩	17	0	4	4	2	1	0	11
45		山美 幹生	51	3	5	4	7	15	2	36
46		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0
47		吉川 直宏	0	0	0	0	0	0	0	0
48		米澤 篤志	13	0	0	1	0	5	0	6
49		阿部 真澄	64	0	1	0	1	11	5	18
50		池脇 竜太	91	1	10	10	8	15	9	53
51	札幌西支部	石川 透	1	1	0	0	0	0	0	1
52		石川 由男	44	0	13	1	1	9	1	25
53		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0
54		上原 貢	11	0	2	1	2	1	2	8
55		大沼 宏	6	0	0	0	1	5	0	6
56		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0
57		岡崎 正毅	11	0	0	5	1	0	0	6
58		小川 裕也	12	1	1	1	1	4	1	9
59		川端 忠範	12	0	1	0	1	3	2	7
60		國分 敬祐	5	0	1	0	0	1	0	2
61	札幌西支部	小中 昌幸	93	2	10	23	6	27	9	77
62		小林 康弘	23	0	2	2	5	6	2	17
63		近藤 勝美	4	0	0	0	0	0	0	0
64		鈴江 誠	48	0	5	7	5	12	2	31
65		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0
66		田中 裕之	147	1	19	13	9	41	5	88
67		藤堂 愛子	3	0	0	0	0	0	0	0
68		外館 英樹	15	2	2	3	0	3	0	10
69		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0
70		長田 幸雄	22	0	2	1	0	3	1	7
71	札幌西支部	西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0
72		八森 恵一	8	0	0	0	0	4	2	6
73		平田 清悦	32	0	10	6	3	6	1	26
74		堀内鶴次郎	21	0	3	0	1	4	1	9
75		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	1
76		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	0
77		森下 敏美	12	0	2	3	0	3	0	8
78		柳橋 琢磨	14	2	4	0	1	2	1	10
79		八島 依子	22	0	2	5	1	6	3	17
80		山田めぐみ	6	0	1	1	0	0	0	2

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績							
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	
81	札幌西支部	山谷 謙太	266	14	25	22	30	52	16	159	
82		湯澤 武憲	13	0	0	1	2	1	0	4	
83		吉田 淳	4	0	0	0	0	6	1	7	
84		吉田 幸広	204	6	30	24	10	33	16	119	
85	小樽支部	足立 竹秀	9	0	1	1	0	1	0	3	
86		澤田 忠宏	46	5	6	2	1	7	4	25	
87		戸井 三雄	89	1	9	15	2	26	7	60	
88		西 正則	12	0	1	1	1	2	1	6	
89	函館支部	奥山 昌弘	20	0	2	4	2	1	2	11	
90		後閑 慶子	7	0	1	0	0	1	0	2	
91		佐々木盛一	39	4	4	4	3	7	1	23	
92		千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	3	
93		田村 維之	7	0	1	2	0	2	0	5	
94		西谷 裕幸	17	0	1	0	1	0	0	2	
95		蛭子井眞市	34	2	1	0	3	9	0	15	
96		細川 拓厚	37	0	3	8	2	11	4	28	
97		松山 高治	18	1	5	1	3	1	2	13	
98		空知支部	大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0
99	木村 聡		83	2	13	4	3	26	3	51	
100	斎藤恵美子		40	0	5	3	3	11	4	26	
101	坂本 健人		142	2	31	15	7	35	8	98	
102	鳴海 敏郎		1	0	0	0	0	0	0	0	
103	八幡 吉昭		21	0	5	3	2	5	2	17	
104	山田 和訓		96	8	19	11	6	21	2	67	
105	旭川支部		薄井タカ子	25	1	4	8	0	5	1	19
106			蝦名 朗太	3	0	0	0	1	1	0	2
107			尾田 利雄	55	1	13	3	3	14	4	38
108		加藤 一博	1	0	0	1	0	0	0	1	
109		金谷 博光	135	2	22	24	10	36	11	105	
110		熊谷 益夫	0	0	0	0	0	0	0	0	
111		小島 拓也	6	0	1	0	0	0	2	3	
112		高橋 慎吾	92	2	16	7	6	23	6	60	
113		田村 栄章	45	1	15	0	1	14	5	36	
114		舟橋 馨	2	0	1	0	0	0	0	1	
115	北見支部	松井 眞実	12	0	0	2	2	4	1	9	
116		渡辺 祐吉	59	0	7	5	5	18	5	40	
117		伊東 隆志	2	0	0	0	0	0	0	0	
118		井山 等	20	0	9	3	4	7	1	24	
119		菅原 雅之	3	1	0	0	0	1	0	2	
120		中島 茂幸	7	0	0	1	0	5	1	7	

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績						
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
121	北見支部	南都 正弘	13	2	2	0	1	4	0	9
122		渡邊 直喜	1	1	0	0	0	0	0	1
123		井上 理	6	0	0	1	0	5	2	8
124		梅田 勇	104	2	18	11	9	27	6	73
125	帯広支部	河合 敏	182	4	28	17	12	42	12	115
126		佐藤 達徳	124	2	12	7	9	31	7	68
127		砂原 政広	82	0	16	13	5	30	8	72
128		竹川 博之	161	3	19	13	9	52	14	110
129		谷本 倍規	159	5	20	19	13	43	12	112
130		照井 直樹	21	0	3	0	1	9	1	14
131		東城 敬貴	31	1	4	1	3	8	0	17
132		中井 宏	233	4	29	31	13	45	16	138
133		松田 孝志	0	0	0	0	0	1	0	1
134		釧路支部	甲賀 伸彦	185	11	25	17	5	53	6
135	高津 直人		0	0	0	0	0	0	0	0
136	近藤 康範		22	0	1	4	0	1	0	6
137	鈴木 圭介		82	1	9	21	5	17	6	59
138	石田 政士		55	3	5	3	4	16	4	35
139	苫小牧支部	猪股 冬樹	32	2	2	1	0	14	2	21
140		小林 史郎	2	0	0	0	0	1	0	1
141		駒井 桂伺	39	1	4	7	2	7	4	25
142		佐藤 俊生	18	0	0	0	1	9	1	11
143		柴山 太一	8	0	0	0	1	1	0	2
144		鈴木 啓一	4	0	0	0	0	0	0	0
145		湯谷 和彦	111	3	16	20	2	28	8	77

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。
 ※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。
 ※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。
 ※実績は法人・個人合算しています。



書面添付実践実践件数の公表をご希望される会員は、北海道会事務局までご連絡をお願いいたします。



いつかまた大好きな北海道に住みたい!

中小企業事業承継支援部 高橋 栄一

TKC中小企業事業承継支援部の高橋栄一と申します。私は現在、東京の飯田橋で勤務しており、TKC会員事務所の自計化利用顧問先の事業承継M&Aをご支援しております。

私は、2006年から2009年までの3年間、旭川SCGサービスセンターでセンター長を務めさせていただき、北海道会の皆さまには大変お世話になりました。当時は30代後半でしたが、北海道を離れてからもう15年、今年で54歳になります。旭川へは京都からの転勤でしたが、大好きな北海道に住めることにワクワクし、離れるときは大変悲しかったことを覚えています。

私の北海道との出会いは学生時代でした。友人からバイクでの北海道ツーリングに誘われ、免許を取ってバイクを調達し約20日間の旅をしました。どこに行くか、どこに泊まるか、いつ帰るかも決めず、北海道各地のキャンプ場やライダーハウスを自由気ままに転々としてきました。これが最高の思い出となり、いつか北海道に住みたいと願っていたのです。



▲今年のGWに猪苗代湖で家族キャンプしました。本州にもいいキャンプ場は沢山ありますが、やはり北海道のキャンプ場は別格です!

旭川に異動後は、結婚していたこともあり、車で北海道各地によく出かけました。特に北海道のキャンプ場は安くてロケーション最高、別格でした!(今は熊が怖いですかね?)今でも家内とはよく「いつかまた北海道に住みたいよね」という会話になります。仕事や子供、四国にいる両親などを考えるとなかなか決断できませんが…。

私が大の北海道好き、ということをお話したところで、皆さまにお願いがございます。北海道に今すぐ住むのは難しいとしても、仕事で北海道に少しでも貢献したいです。

皆さまの顧問先で、親族にも従業員にも跡継ぎがない、でもこのまま廃業してしまうのはもったいない、といった顧問先はございませんでしょうか?近年、中小企業の世界でもM&Aが浸透してきており、皆さまの顧問先も金融機関やM&A業者からM&Aの営業を受けていると思われます。

TKCならではのM&A支援の特徴は、①仲介・中立ではなく顧問先に寄り添って支援すること、②必ずしもM&Aありきではないこと(M&Aが難しい場合はその旨明確にお伝えします)、③TKC会員の皆さまと連携して進めること、です。顧問先の存続と、オーナー経営者のハッピーリタイアを全力でご支援しますので、ぜひお気軽にご相談ください。私がすぐに駆け付けます!

問い合わせ先

株式会社TBC(TKC社員が常駐しています)
電話：03-6265-6585
高橋直通：080-4462-6540

北海道会 会務動向

	日	行事名
令和6年 7月	4	TKC北海道会 中堅・大企業支援研究会 情報交換会
	5	会計事務所の高付加価値経営実践講座
	9	リスクマネジメント制度推進委員会 東京海上部会
	10	リスクマネジメント制度推進委員会 あいおい部会
	11	現場力養成講座
	11	資産活用委員会 大和部会推進会議
	23	資産対策研究会
	24	正副会長会
	25	はじめての書面添付研修会
	26	広報委員会
令和6年 8月	29	理事会
	29	理念研修会
	2	リスクマネジメント制度推進委員会
	2	旭川支部総会
	5	共済制度推進委員会
	5	釧路支部総会
	6	巡回監査・事務所経営委員会
	6	北見支部総会・秋季大学実行委員会
	7	システム委員会
	7	中小企業支援委員会
	8	札幌東支部例会
	8	空知支部総会
	9	正副会長会
	9	ニューメンバーズ・サービス委員会
	9	広報委員会
	16	総務委員会
	19	理事会
	20	札幌西支部例会
20	函館支部総会	
21	現場力養成講座	
26	農業経営研究会研修会	
26	書面添付推進委員会	

シローちゃん 所属の支部の 例会

行ってみた 第6回

札幌東支部・ 苫小牧支部交流編

札幌東支部 谷口 卓弥

札幌東支部の谷口卓弥です。前回に引き続き、苫小牧支部例会に参加となりました。

前回の「シローちゃん所属の支部の例会に行ってみた」の続きで、今回は支部間交流編になります。

6月19日(水)16時より「アパホテル(室蘭)」にて開催の苫小牧支部例会に、単独ではなく支部交流として、札幌東支部の市川喜明支部長、南優香副支部長、岩田圭史副支部長、そして広報委員長



である私が参加させていただくことになりました。私を除く方々は、昼間のラウンドを終えての参加でして、パワフルな面々ですね。

支部例会の詳細は苫小牧支部の支部例会・研修会だよりをご覧ください。交流といえば懇親会です。18時より3階橋の間にて開催、前回は視察名目でしたので(初対面の方が多く腰が引けていたとも言えますが)例会の様子だけの撮影となりましたが、今回は2回目ということもありまして、遠慮なく懇親会の様子を撮影させていただきました。ご協力ありがとうございます。

宴もたけなわ、2次会をALMA、3次会を富士ラーメンにて行い、お開きとなりました。やはりシローちゃんが1番はじけていますね、飲み会だとわかりやすいです(笑)。



苫小牧支部の会員の皆さま、前回に引き続きありがとうございました。余談ですが、前回の2次会の「PHILIA」にておもてないただいたスタッフの方が、別のお店を引継ぐことになりまして、懇親会候補のお店がここにまた一つ。交流検討中の支部がありましたら詳しくはシローちゃんまで。

次回は、8月8日の滝川支部例会にお邪魔しているはず。よろしくお願いします。





活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和6年 9月		令和6年 10月		令和6年 11月	
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	日		1	火	
2	月		2	水	
3	火		3	木	秋季大学(北見)
4	水	現場力養成講座	4	金	
5	木		5	土	
6	金		6	日	
7	土		7	月	
8	日		8	火	
9	月	帯広支部総会	9	水	
10	火	苫小牧支部総会	10	木	
11	水		11	金	企業防衛マスターズ会
12	木		12	土	
13	金	正副会長会	13	日	
14	土		14	月	スポーツの日
15	日		15	火	函館支部例会
16	月	敬老の日	16	水	正副会長会
17	火	企業防衛委員会	17	木	
18	水	資産対策研究会	18	金	タックスフォーラム2024
19	木		19	土	
20	金	北海道会定期総会 北海道政経研究会定期大会 札幌東支部総会 札幌西支部総会	20	日	
21	土		21	月	
22	日	秋分の日	22	火	
23	月	振替休日	23	水	札幌東支部例会
24	火		24	木	
25	水		25	金	
26	木		26	土	
27	金		27	日	
28	土		28	月	
29	日		29	火	
30	月		30	水	理事会
			31	木	

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

過去の『かいほう』が読めます。(214~255号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。
(広報委員会)



編集後記

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

○難儀である。関与してから2期目のある社長から「決算の着地点を見たい」。残念ながら記帳代行の先である。が、当然先を見据えて当たり前の発生主義である。継続MASを受信し、人件費は前月と同じ、その他は昨年の金額を入れて、売り上げ、外注費は聞き取りで、いざ。

6・7月の売り上げはどのくらいですかの問いに、通帳をパラパラとめくりだし、入金金額を調べ出す。いやいや、そうじゃなくて、6・7月の請求する金額はどのくらいですか。はて？と怪訝そうな顔。一から発生主義の話をして(いや前にも何回もしている)ようやくのことで何とか売り上げを聞き出し、決算予測も成功しました。いまだに頭の中が現金主義はほんとに困りもんである。

○全国役員大会報告。「会計事務所の経営革新」「4大業務の同時提供」「巡回監査がすべての基本」「TKCシステムの徹底活用」「近未来の巡回監査～時代対応」といろいろキーワードはあるが、坂本会長の処刑の話は、関与先の社長にはいい薬になるかもしれない。

(広報委員長 坂本 文彦)